

<試験の区分（建築）>

九州防衛局建築課 令和2年度採用



【1日の仕事の流れ】

8:30 出勤

メールのチェック。仕事の優先順位について上司と相談して1日のスタートです。

9:00 工事資料の整理

現在稼働中の工事現場からの日々の報告資料を整理し、担当者へ共有します。

10:00 監督・発注業務

担当事案の書類チェックや質疑対応等と並行で、新規発注事案の費用を算出したり図面の整合をチェックしたりします。

12:00 昼休み

自席で食べる人が多いですが、同僚とたまには外で食べることもあります。

13:00 監督業務・打合せ

工事現場から共有される明日の作業予定について確認します。

業者や担当者との打合せを適時実施し、今後のスケジュールについて協議します。

15:00 監督業務など

午前に引き続き担当業務の作業に着手し、定時に明日やることを組み立てます。

17:15 退庁

急ぎの案件がないときはできるだけ早めに帰るようにしています。

今年は一級建築士の取得に向けて、勉強時間を確保しています。

① 現在どのような仕事をされていますか？

当局で発注する建築工事や設計、及び地質調査にかかわる発注業務と監督業務のほか、建築課内の取りまとめや行政文書の情報開示対応等、多岐に渡ります。

特に大型の事業においては、本省の職員や他省庁の機関とも連携しながら業務を遂行しています。

② 大学で専攻したことがどのように活かされていますか？

建築学を専攻しており、環境・構造の計算問題や法規の講義が得意で特に注力していました。

公共建築を造るうえでは、あらゆる事象に対して根拠材料が強く求められますので、悩んだり躓いたりすることも多々あります。ですが、大学で育んだ建築に関わる知識や公式、法令等を丁寧に扱う粘り強さを武器に前向きに取り組んでいます。

③ どのような仕事が印象に残っていますか？

自衛隊施設を何もない状態から建設する仕事に携わる中で、何棟もの大きささまざまな用途の建築物について自治体への申請手続きを任せられ、計画通りに事業を進めるために自治体や設計者との間に入り調整することで日々のスケジュール管理とコミュニケーションの重要性を強く実感しました。

④ 国家公務員志望者へのメッセージをお願いします！

建築系の公務員は民間の建設会社から転職された方など、様々な経歴の方が多く居ます。

秩序を重んじつつも個性的で活発なメンバーが多く、困ったときは周囲が心強い味方となってくれます。

多様な価値観や知見を持つ職員とスクラムを組み、防衛省ならではのスケールの大きな事業を成し遂げることで得られる達成感を、是非とも分ちあえたらと思います。